

JAMA/JAPIA統一データシート改正内容のまとめ (Ver.2.13)

- ・ 本資料は、JAMA/JAPIA統一データシートのバージョンアップ(Ver.2.13)による変更点をまとめたものです。 [2011年6月1日リリース]
- ・ 最新版のJAMA/JAPIA統一データシートは、2011年6月以降、JAPIAホームページ (<http://www.japia.or.jp/>) より入手できます。
- ・ JAMA/JAPIA統一データシートは、今後もバージョンアップされる可能性があります。

2011年6月1日
(社)日本自動車部品工業会
製品環境部会

<Ver.2.13による改正内容一覧表>

ファイル	改正項目	改正内容	詳細説明
I. 記入帳票	1. 再生材使用率の入力対象拡大	<p>IMDSの変更に合わせ、VDA材料分類コードが7.1:有機天然材料、7.2:セラミック/ガラスについても入力必須としました。 (従来は VDA材料分類コードが1.X~5.Xが入力必須)</p> <p>[対象となる入力項目] 再生材使用率(工程内リサイクル材) (項目番号28、29) 再生材使用率(市場回収材) (項目番号30、31)</p>	3ページ
	2. 表紙	<ul style="list-style-type: none"> ・バージョン、日付を更新しました。 ・改正の説明を追記しました。 	4ページ
II. 外部リスト	3. 材料リスト MAT	<ul style="list-style-type: none"> ・JIS規格の改訂内容を反映しました。 ・誤記を訂正しました。 	5,6ページ
	4. 化合物リスト IMDS_SUB	<ul style="list-style-type: none"> ・IMDS BSLの変更内容(追加・修正・削除)を反映しました。 ・これに伴い、化合物名称(日本語)を見直しました。 ・GADSL改訂(2011 Version)を反映しました。 ・REACHのSVHC(高懸念物質)のフラグを追加しました。(2010年12月15日追加分) 	(なし)
	5. 化合物の GADSL分類 IMDS_CATEGORY	<ul style="list-style-type: none"> ・GADSL改訂(2011 Version)に合わせ修正しました。 	(なし)

1. 再生材使用率の入力対象拡大 (7.1:有機天然材料、7.2:セラミック/ガラス)

入力項目:再生材使用率(工程内リサイクル材) (項目番号28、29)

再生材使用率(市場回収材) (項目番号30、31)

IMDSの変更に合わせて、VDA材料分類コードが7.1:有機天然材料、7.2:セラミック/ガラスについても入力を必須としました。

変更前	変更後
<p><u>入力必須のVDA材料分類コード</u> 1.X、2.X、3.X、4.X、5.X</p>	<p><u>入力必須のVDA材料分類コード</u> 1.X、2.X、3.X、4.X、5.X、7.1、7.2</p>
<p><u>エラーチェック内容</u></p> <p>VDA材料分類コードが1.X、2.X、3.X、4.X、5.Xで、再生材使用率が未入力の場合、以下の警告が表示され、「0」が自動設定される</p> <p><表示される警告> [mes8:警告] 入力されていたデータを自動設定にて上書きしました。 化合物含有率(固定値)については、部工会オプションの化合物含有率(最大値、最小値、残部)から自動設定されます。</p>	<p><u>エラーチェック内容</u></p> <p>VDA材料分類コードが1.X、2.X、3.X、4.X、5.X、7.1、7.2で、再生材使用率が未入力の場合、以下の警告が表示され、「0」が自動設定される</p> <p><表示される警告> 左記に同じ</p>

2. 表紙

JAMA統一データシート

Ver.2.13
2011年6月1日

＜変更点＞
バージョン、日付を更新
しました。

JAMA統一データシートの改正を、下記の通り実施します。

＜2011年6月1日＞

- ・IMDSとの整合を図り、小改正版(Ver2.13)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、部工会ホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2010年12月15日に追加されましたので、外部リストを修正しました。

＜変更点＞
改正内容を追記
しました。

＜2010年10月1日＞

- ・IMDSとの整合と、入力者の利便性向上を図り、小改正版(Ver2.12)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、部工会ホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2010年6月18日に追加されましたので、外部リストを修正しました。

＜2010年6月1日＞

- ・欧州廃車指令(ELV)の適用除外リスト(Annex II)の改訂に伴い、IMDSのアプリケーションコードが変更されたため、外部リストを修正しました。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2010年1月13日、3月30日に追加されましたので、外部リストを修正しました。
- ・入力帳票の内容に変更はありません。

＜2009年10月1日＞

- ・IMDSのバージョンアップに対応するため、小改正版(Ver.2.10)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、部工会ホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・外部リストの改正も実施しましたので、Ver.2.10(EXLIST-2009-10-01JP)を利用して下さい。

(以下、省略)

3. 材料リスト「MAT」の変更点

1) JIS改正内容の反映

Ver2.13には改訂内容(期間:2010年10月～2011年3月)を以下の通り、反映する。

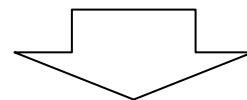
JIS規格	改訂時期	改訂内容
JISG3131 (熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)	2010年 10月	国際規格との整合化のため、化学成分規定を改正する。
JISH8302 (肉盛溶射(鋼))	2010年 10月	規格の統合と廃止により、溶射皮膜用材料の体系を改正する。
JISH8303 (自溶合金溶射)	2010年 10月	規格の統合と廃止により、溶射皮膜用材料の体系を改正する。
JISZ3316 (軟鋼, 高張力鋼及び低温用鋼用 ティグ溶接溶加棒及びソリッドワイヤ)	2011年 3月	国際規格との整合化のため、体系を改正する。
JISZ3317 (モリブデン鋼及びクロムモリブデン鋼用 ガスシールドアーク溶接溶加棒及び ソリッドワイヤ)	2011年 3月	国際規格との整合化のため、体系を改正する。
JISZ3331 (チタン及びチタン合金溶接用の溶加棒 及びソリッドワイヤ)	2011年 3月	国際規格との整合化のため、体系を改正する。
JISZ3334 (ニッケル及びニッケル合金溶接用の 溶加棒, ソリッドワイヤ及び帯)	2011年 3月	国際規格との整合化のため、体系を改正する。

2) 誤記の訂正

Ver.2.12に下記の誤記があったので訂正する。

<訂正前>

表面処理 識別	構成材料名称 (英語)	構成材料名称 (日本語)	材料規格	材料記号 (樹脂・ゴム)	VDA材料分類 コード	IMDS登録 名称
	Plastics PET(Filled)	ポリ(エチレンテ レフタレート)	ISO1043	PET-\$	5.1.a	PET



<訂正後>

表面処理 識別	構成材料名称 (英語)	構成材料名称 (日本語)	材料規格	材料記号 (樹脂・ゴム)	VDA材料分類 コード	IMDS登録 名称
	Plastics PET (Filled)	ポリ(エチレンテ レフタレート)	ISO1043	PET-\$	5.1.a	PET

名称にスペース追加

(補足説明) 旧バージョンとの互換性について

(1) 外部リスト

互換性なし。

必ずVer.2.13の外部リストを利用して下さい。

旧バージョンの外部リスト(Ver.2.00 ~ Ver.2.12)は、

エラーチェックや選択入力が正しく動作しないため利用することができません。

(2) CSVファイル

互換性あり。

旧バージョン(Ver.2.00 ~ Ver.2.12)にて作成したCSVファイルでも

取り込みできます。

ただし、入力内容によっては、外部リストの見直しに伴い、

エラーが発生する可能性があります。この場合データの修正が必要となります。